



川口市立在家中中学校 川口市大字安行領在家272番地  
048(295)4102 FAX 048(295)5661  
URL <https://zaikai-j-kawaguchi-saitama.edumap.jp/>



・心身ともにたくましい生徒  
・自ら進んで学ぶ生徒  
・豊かな情操を培う生徒

## ヒヨコが先か、たまごが先か？ 個の力が先か、チーム力が先か？

校長 鈴木 玲

1・2年生が先輩から部を引き継ぎ、臨んだ市民体育祭、いわゆる新人戦が先月行われました。時間の許す限り各会場を回らせてもらいましたが、勝敗にかかわらず、どの部、どの選手たちも今自分が出せる力を十分に出し切って、素晴らしい試合を見せてくれました。活気にあふれ、観ている者の応援にも力が入る会場の熱気は厳しい残暑の影響だけではなさそうです。

運動部は主に、夏休み中に練習試合等を通して経験を積んだり、プレイ上の約束ごとを全体で確認したりと、チームづくりの佳境を迎えます。「新人戦」とは言え、3年生と一緒に春の学校総合体育大会に出場していた選手が多く残っていたり、小学生の頃からその競技を続けてきた選手がいたりするチームは明らかに他校から一步リードしている印象です。しかし、努力を続けてきた選手からすれば「暑い夏、苦しい練習も全力で乗り越えてきた」という自負があるはず。「勝ちたい」という思いはどのチームも一緒です。では、短い準備期間の中でジャイアントキリングを起こすチームづくりは難しいのでしょうか？ 勝敗だけにこだわるべきではないとわかっていながらも生徒の一心な姿を目にすれば、なんとか勝たせたいと思うのも顧問の心情です。

私自身、部活動指導から離れて10年以上が経ちます。指導に当たっていた間も自らカリスマ的存在になって常勝チームを作り上げたといった実績はありません。また、今の部活動には制約も増え、先生方も苦勞が多い大変な時代になりました。私が長い間関わってきたバスケットボールはルールだけでなく戦い方も大きく変化し、以前の指導など通用しないことも十分理解しています。しかしながら、どの競技、どの学校も、現在、指導に当たってくださっている先生方がこの大会に向けて何に重点を置き、生徒たちに何を積み上げてきたのか。そして、私の考えは現代の部活動の中で通用するのか、しないのか。大会を見ながら思うところがありました。

「新チームがスタートして、優先的にやるべきことは個人のスキルを高めることなのか、チームとしてのコミュニケーションを高めることなのか。」 前述の競技経験が長い選手などは既に高いスキルや経験による判断力を身に付けています。高いスキルの選手を多く育成することでチームを底上げしていく。実に理にかなったチームづくりだと思います。しかし、私の過去のチームづくりの「はじめの一步」は「一人一人の技術やスピード、体力や判断力が劣るならチームでカバーすればいい」という考えだった気がします。ただし、年1回、一発勝負の大会ではその戦い方に限界があり、勝利に結びつきづらいのも現実です。それでも、個々の不足を仲間同士で補いながらチームを前進させていく。これも正しいチームづくりだと思っています。

そして、これは、部活動に限った話ではなく、学習や生活の基として、最近もよく話している気がします。「一人でできなければ（わからなければ）仲間の力を頼ればいい」ということを。

個人のスキルを高めるのがいいのか、集団としてコミュニケーション力を高めることを優先すべきなのか、おそらく答えはいつまで経っても出ないでしょう。しかし、部活動を終えた今も私に残っているのは「ともに支え、助けあった仲間」であることだけは間違いありません。

